



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 リバーエレテック株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）若尾 富士男
 問合せ先責任者 （役職名）取締役総務本部長 （氏名）高保 譲治 （TEL） 0551（22）1211
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23年3月期第1四半期	1,322	19.2	13	—	10	—	3	—
22年3月期第1四半期	1,109	△41.9	△333	—	△328	—	△327	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	0	50	—	—
22年3月期第1四半期	△44	47	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		％	円	銭
23年3月期第1四半期	7,328		3,180		42.7	424	46
22年3月期	7,490		3,186		41.9	425	53

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 3,128百万円 22年3月期 3,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年3月期	—				
23年3月期（予想）		0 00	—	0 00	0 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第2四半期（累計）	2,918	20.8	△58	—	△50	—	△56	—	△7	71
通期	6,201	20.1	11	—	19	—	4	—	0	67

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動：無

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	7,492,652株	22年3月期	7,492,652株
23年3月期1Q	121,058株	22年3月期	121,058株
23年3月期1Q	7,371,594株	22年3月期1Q	7,371,594株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府支援策や新興国経済に牽引され、緩やかな回復傾向が続いているものの、雇用環境が厳しいなか、個人消費が低調に推移するなど、自立的回復が脆弱な環境下であり、先行き不安定な状態が続いております。

このような環境下において当社グループは、強みである水晶製品の「小型化」「薄型化」「高品質」を追求し、顧客満足の最大化と市場競争力の強化に注力するとともに、中国・台湾等のアジアを中心とした海外販売力の強化を重点課題として取り組んでまいりました。また、生産体制の再構築化を推進し、生産の合理化、効率化による生産性の向上や固定費の縮減などのコスト削減活動にも取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,322,827千円（前年同期比19.2%増）となりました。利益面におきましては上記の施策に加え、前期に行った固定資産の減損処理による減価償却費の減少により、営業利益13,788千円（前年同期は333,738千円の営業損失）、経常利益10,303千円（前年同期は328,406千円の経常損失）、四半期純利益3,689千円（前年同期は327,798千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

無線モジュール向けの受注は低調に推移し、売上高は前年同期を下回ったものの、携帯電話、車載関連、デジタルカメラ向けの売上高は増加しました。なかでも携帯電話向けはスマートフォン需要が世界的に拡大しており、大幅な伸長となりました。

その結果、水晶製品事業の売上高は1,265,895千円（前年同期比21.4%増）となりました。

（その他の電子部品事業）

抵抗器は、海外のTV向けが販売価格の下落はあったものの、受注が好調であり売上高は増加した一方、インダクタは、海外のAVチューナー向けの受注が低迷し、厳しい状況が続いた結果、その他の電子部品事業の売上高は56,931千円（前年同期比14.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の増加121,571千円、現金及び預金の減少327,499千円等により前連結会計年度末から162,252千円減少し、7,328,190千円となりました。負債合計は、長期借入金の減少140,657千円等により前連結会計年度末から156,372千円減少し、4,147,231千円となりました。純資産合計は、当第1四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加3,689千円、少数株主持分の増加2,036千円、評価・換算差額等の減少11,606千円等により前連結会計年度末から5,879千円減少し、3,180,958千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益8,867千円、減価償却費97,918千円となったほか、売上債権の増加が112,900千円、仕入債務の減少171,455千円等により△158,076千円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出200,000千円、定期預金の払戻による収入226,394千円、有形固定資産の取得による支出135,913千円等により△111,508千円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加（純額）131,070千円、長期借入金の返済による支出174,138千円等により△43,491千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では修正はありませんが、第1四半期の業績が順調に推移しており、計画を上回る結果となったことから、現在先行きの情勢を含めて精査中であり、精査の結果、業績予想の修正が必要と判断される場合には、すみやかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,310,915	1,638,415
受取手形及び売掛金	1,596,190	1,474,618
商品及び製品	330,675	335,037
仕掛品	287,495	260,068
原材料及び貯蔵品	517,735	514,691
その他	114,957	127,476
貸倒引当金	△2,877	△2,575
流動資産合計	4,155,092	4,347,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	477,803	473,873
機械装置及び運搬具（純額）	1,436,396	1,448,395
工具、器具及び備品（純額）	92,305	88,971
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	6,223	6,626
建設仮勘定	451,818	374,644
有形固定資産合計	2,879,975	2,807,941
無形固定資産		
ソフトウェア	3,445	4,362
その他	18,326	18,800
無形固定資産合計	21,772	23,163
投資その他の資産		
投資有価証券	134,263	180,186
破産更生債権等	73,250	71,250
その他	133,492	127,647
貸倒引当金	△73,250	△71,250
投資その他の資産合計	267,756	307,834
固定資産合計	3,169,504	3,138,939
繰延資産		
開業費	3,592	3,771
繰延資産合計	3,592	3,771
資産合計	7,328,190	7,490,442

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	842,352	999,826
短期借入金	704,811	567,850
1年内返済予定の長期借入金	628,157	661,638
未払法人税等	5,448	9,858
賞与引当金	1,169	—
設備関係支払手形	224,198	182,859
繰延税金負債	776	—
その他	328,986	332,715
流動負債合計	2,735,901	2,754,749
固定負債		
長期借入金	1,191,915	1,332,572
繰延税金負債	593	812
退職給付引当金	102,524	103,108
役員退職慰労引当金	110,030	107,100
環境対策引当金	1,428	—
その他	4,838	5,262
固定負債合計	1,411,329	1,548,855
負債合計	4,147,231	4,303,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,428,164	1,424,475
自己株式	△17,759	△17,759
株主資本合計	3,438,735	3,435,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△46,549	1,007
為替換算調整勘定	△263,274	△299,225
評価・換算差額等合計	△309,823	△298,217
少数株主持分	52,047	50,010
純資産合計	3,180,958	3,186,838
負債純資産合計	7,328,190	7,490,442

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	1,109,807	1,322,827
売上原価	1,135,747	1,022,609
売上総利益又は売上総損失(△)	△25,940	300,217
販売費及び一般管理費	307,798	286,429
営業利益又は営業損失(△)	△333,738	13,788
営業外収益		
受取利息	2,056	428
受取配当金	343	1,878
助成金収入	13,756	3,200
作業くず売却益	—	6,396
その他	2,110	1,735
営業外収益合計	18,267	13,639
営業外費用		
支払利息	10,368	9,536
為替差損	1,062	5,187
その他	1,504	2,400
営業外費用合計	12,935	17,123
経常利益又は経常損失(△)	△328,406	10,303
特別損失		
固定資産除却損	145	7
環境対策引当金繰入額	—	1,428
特別損失合計	145	1,436
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△328,551	8,867
法人税、住民税及び事業税	3,404	3,987
法人税等調整額	△768	551
法人税等合計	2,635	4,539
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,328
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,388	638
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△327,798	3,689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△328,551	8,867
減価償却費	267,444	97,918
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	268
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,228	1,169
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,560	△584
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,560	2,930
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	1,428
受取利息及び受取配当金	△2,287	△2,306
支払利息	10,286	9,443
為替差損益(△は益)	509	29
有形固定資産除却損	145	7
売上債権の増減額(△は増加)	△63,749	△112,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	105,047	△9,954
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,825	△171,455
未収入金の増減額(△は増加)	2,445	26,134
未払金の増減額(△は減少)	45,170	△399
その他	33,940	6,654
小計	5,709	△142,748
利息及び配当金の受取額	2,403	2,693
利息の支払額	△9,406	△9,313
法人税等の支払額	△2,144	△8,708
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,437	△158,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	398,231	226,394
有形固定資産の取得による支出	△169,026	△135,913
有形固定資産の売却による収入	4,432	—
投資有価証券の取得による支出	△1,638	△1,634
その他	—	△354
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,999	△111,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△31,972	131,070
長期借入金の返済による支出	△160,440	△174,138
リース債務の返済による支出	△197	△423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,610	△43,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,266	8,436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△144,782	△304,640
現金及び現金同等物の期首残高	1,749,468	1,149,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,604,686	844,777

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	水晶製品 (千円)	抵抗器 (千円)	インダクタ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,043,091	18,546	34,571	13,597	1,109,807	—	1,109,807
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,043,091	18,546	34,571	13,597	1,109,807	—	1,109,807
営業利益及び営業損失 (△)	△154,471	2,271	2,289	4,484	△145,426	(188,312)	△333,738

(注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の系列を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
水晶製品	表面実装水晶振動子、スルーホール実装型水晶振動子、クロック用水晶発振器等
抵抗器	炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜固定抵抗器等
インダクタ	ラジアルリードインダクタ、チップインダクタ等
その他	開閉器等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	817,307	292,499	1,109,807	—	1,109,807
(2) セグメント間の内部売上高	260,089	16,042	276,131	(276,131)	—
計	1,077,396	308,541	1,385,938	(276,131)	1,109,807
営業損失 (△)	△134,602	△11,262	△145,865	(187,872)	△333,738

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、シンガポール、マレーシア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	9,831	343,676	1,065	354,574
II 連結売上高（千円）	—	—	—	1,109,807
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	0.9	31.0	0.1	32.0

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

（1）北米 …米国、カナダ

（2）アジア…シンガポール、マレーシア、台湾、中国、韓国、香港

（3）その他…EU、オーストラリア

3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業の種類別を基礎としたセグメントから構成されており、「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水晶製品事業」は、ATカット水晶振動子、音叉型水晶振動子及び水晶発振器を生産しております。

「その他の電子部品事業」は、炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜抵抗器、ラジアルリードインダクタ及びチップインダクタ等を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,265,895	56,931	1,322,827	1,322,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,265,895	56,931	1,322,827	1,322,827
セグメント利益	3,252	7,050	10,303	10,303

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	10,303
四半期連結損益計算書の経常利益	10,303

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）
水晶製品	1,267,061
その他の電子部品	64,213
合計	1,331,275

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
水晶製品	1,570,660	703,502
その他の電子部品	60,493	13,823
合計	1,631,153	717,326

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）
水晶製品	1,265,895
その他の電子部品	56,931
合計	1,322,827

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。